

EMS ニュースの第 20 号をお届けします。

ご存知のように JRC 蘇生ガイドラインが改定となり、オンライン版が昨年 10 月に公開されました。新たに「ファーストエイド」が設けられ、その中の重度の四肢の外出血に止血帯(ターニケット)を使用することが明記されました。アコード EMS ニュースでも、ターニケットの米軍やプレホスピタルでの使用実績を紹介してきました。タイミングよく、NAR ターニケット C-A-T が改良され第 7 世代となりましたので紹介します。



第 7 世代 NAR ターニケット C-A-T(Combat Application Tourniquet)

ノースアメリカンレスキュー社は、第 7 世代となる新型のターニケット C-A-T を出しました。従来の CAT と比較し多くの改良点があり、より効果が高く、より安全なターニケットとなりました。以下に、改良点と特長を示します。

- 1 シングルバックル**
 - ・操作が単純になった
 - ・簡単なトレーニングで装着方法を習得できる
 - ・バンドが弛みにくい
 - ・失血量が減少した
 - ・ロッドの少ない回転で止血
- 2 巻上げロッド**
 - ・太くより丈夫になった
 - ・グリップが滑りにくくなった
- 3 ロッドクリップ**
 - ・より丈夫になった
- 4 タイムストラップ**
 - ・グレー色に変更
- 5 安定プレート**
 - ・強くなった傾斜バー
 - ・皮膚の挟み込みを最小にした
- 6 レッドティップ**
 - ・視認性がよりよくなった
- 7 移動ストラップ内臓バンド**
 - ・四肢の円周に均等に圧力をかける



NAR3001
NAR ターニケット CAT



NAR3023
NAR ターニケット EMS

* シングルバックルになったことによって、取り扱いがシンプルになった。ロッドを含め、全体の構造の強度が増し、壊れにくくなった。また、バックルの緩みが少なくなり、より早く止血できるようになった。

米国での近年のターニケットの考え方

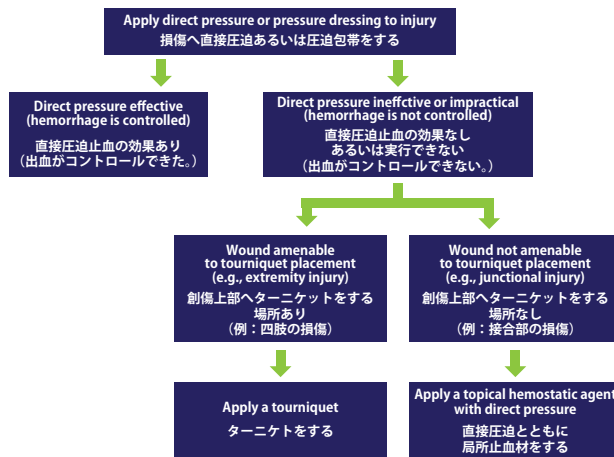
ターニケットについて、米国でも、かつては危険なものとして取り扱われてきました。しかし、ベトナム戦争での救命の実績から始まり、イラク・アフガニスタン戦争でのターニケット使用による救命率の増加から、見直されました。

2014 年に、ACS=AMERICAN COLLEGE OF SURGEONS COMMITTEE より、「An Evidence-Based Prehospital Guideline for External hemorrhage Control」が出され、プロトコルに加わりました。

外出血コントロールのプロトコルを右へ示します。

An Evidence-Based Prehospital Guideline for External Hemorrhage Control :
American College of Surgeons Committee on Trauma
(Prehospital Emergency Care Volume-18 Issue 2, 2014) より

Prehospital external hemorrhage control protocol 病院前、外出血コントロール プロトコル



従来品第 6 世代ターニケット (オレンジ NAR3023) 特価販売 40%off で販売します。

~~7800 円 (税込 8424 円)~~

→ 4680 円 (税込 5054 円)

在庫が 20 個あります。
お早めにどうぞ!!!

税込 5000 円

購入方法についてはメールか電話で問合せ
ください。 担当：高橋 徹

あとがき

ファーストエイドやプレホスピタルで使用するターニケットを紹介しました。外出血コントロールのプロトコルは小さくなってしまい、見にくいかと思います。資料を準備しましたの請求ください。また、NAR ターニケット CAT のデモ品を準備しましたので、実際に試したい方は依頼ください。

email:takahashi@accord-intl.com / FAX:03-3299-6752

代表取締役 山本博太
アコードインターナショナル株式会社
15 1-0072 東京都渋谷区幡ヶ谷 1-9-4-1005
TEL:03-3299-6751 FAX:03-3299-6752
e-mail: Accord@accord-intl.com http://www.Accord-INTL.com

